



朝風

平成30年度
学校報2月号③
大仙市立
大曲南中学校

今年度最後のPTA参観日 ～ご来校に感謝～

どんな職業が向いてる？

◇1年部では、職業と適性について、自己理解を絡めて考え合う授業でした。仕事の特色を考え、どんなパーソナリティの人が向くのかを話し合い、今度は友達



同士で助言をします。感心するような発言がいっぱいありました。

高校調べ発表プレゼン

◇2年生は、来年に迫った高校入試に向けて意識を高めるために、これまで一人一人が興味をもった高校について調査活動を行ってきました。今回は、その成



果を発表し合いました。2年生はプレゼンが得意。ハプニングにも動きません

入試に向けて面接練習

◇3年生では、前期選抜合格者を師範代にして、来るべき一般選抜試験の際の面接(集団)に向けての練習の様子を見て



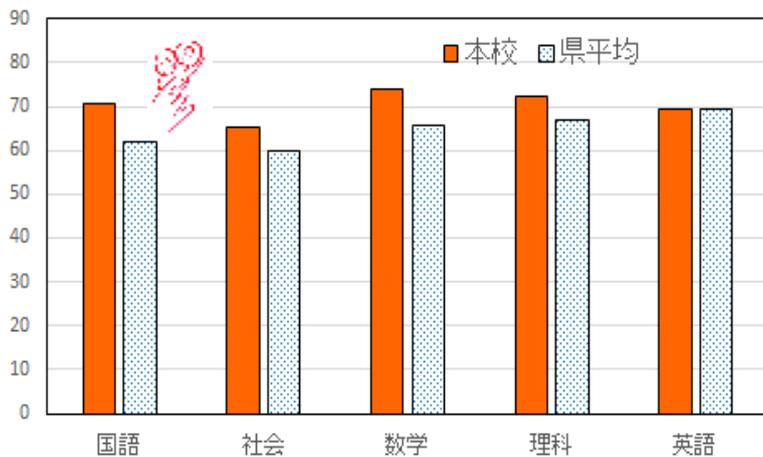
いただきました。面接官役の師範代は、1月に鍛えられた経験を伝えていました。

H30 県学習状況調査の結果について

県内の中学1・2年生を対象にして、12月6日に行われた県<5教科の結果と分析>学習状況調査の結果がまとまりましたのでお知らせいたします



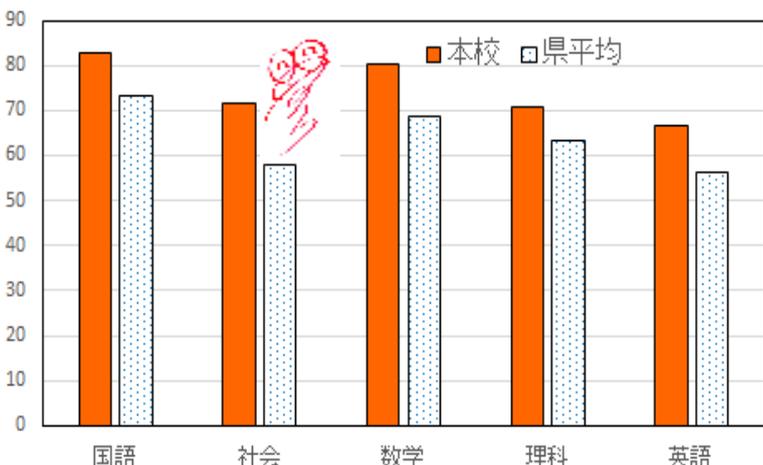
1年生 県学習状況調査平均通過率(%)



<1年生>全教科で県平均を上回っており、概ね良好な結果です。

国語では、修飾語・被修飾語の関係を問う問題に課題がありました。社会科では、歴史の大きな流れを考察して表現するような問題に課題がありました。数学では、数量の関係を文字式で表すことに課題がありました。理科では、密度に関する問題で、体積の求め方が間違っているために誤答となった生徒が少なくありませんでした。英語では、主語が三人称単数の際の一般動詞の“s”と疑問文の際の“does”に慣れる必要があると感じました。

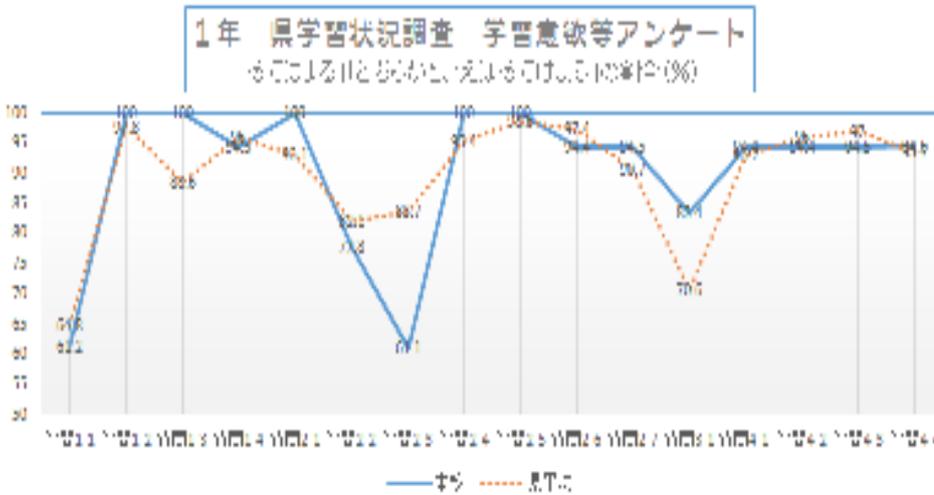
2年生 県学習状況調査平均通過率(%)



<2年生>全教科で県平均を大きく上回っており、良好な結果です。

国語では、登場人物の行動に着目して心情を読み取ることに課題がありました。社会科では、複数の資料やグラフを比較して共通点や相違点を読み取り、適切な用語を使って表現する問題に課題がありました。数学では、「事象の中の数量の関係を等式で表すこと」が県平均を下回るなど課題が残りました。理科では、「柱状図の読み方」や「光の作図」の問題に課題がありました。英語では、正しい語順を用いて英文を構成する力が不十分でした。

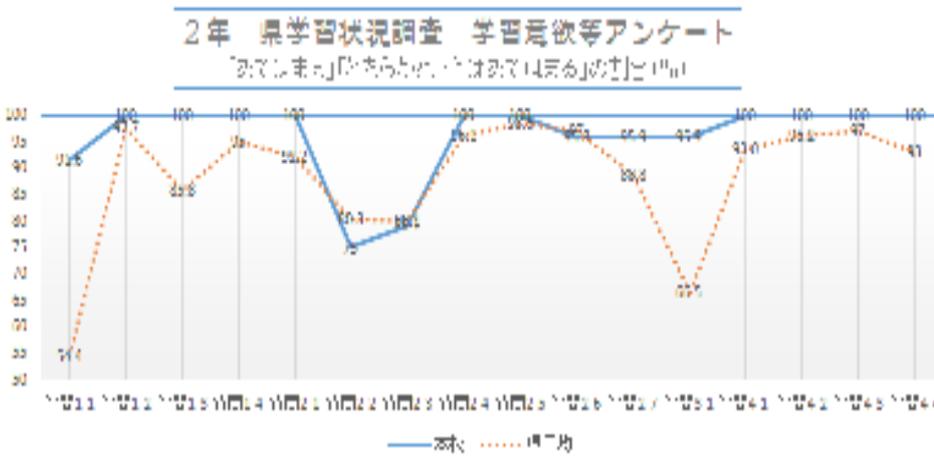
〈学習の意欲等に関するアンケートの結果と分析〉



- 質問 1-1 勉強が好きだ
- 質問 1-2 勉強は大切だ
- 質問 1-3 学校の勉強がよく分かる
- 質問 1-4 みだんの生活や社会に出たときに役立つよう勉強したい
- 質問 2-1 学校が楽しい
- 質問 2-2 自分にはよいところがあると思う
- 質問 2-3 将来の夢や目標をもっている
- 質問 2-4 学校のきまりを守っている
- 質問 2-5 友達との約束を守っている
- 質問 2-6 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 質問 2-7 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う
- 質問 3-1 学校の日も家庭学習1時間以上
- 質問 4-1 授業では、自分の考えを発表する機会がある
- 質問 4-2 授業では、友達と話し合う活動をよく行っている
- 質問 4-3 授業では、授業のめあて・ねらいを立てて取り組んでいる
- 質問 4-4 授業では、最後に学習活動を振り返る活動を行っている

◇質問 1-1 では県平均を下回っていますが、その他の質問からは勉強の大切さを認識し一生懸命に取り組もうとしていることが伺えます。家庭での学習時間の長さも、(PTA 全体会では「えっ?」という声も上がりましたが)、まずまず確保されているようです。

◇「自尊感情」や「夢や目標」の項目では、県平均を下回っています。特に、質問 2-3 の低さが気になります。



◇学年が進むにつれて、学習意欲に関しては個人差が顕著になり、平均するとやや低下傾向が見られるものですが、2年生にはそうした傾向があまり見られず、多くの質問項目で県平均を上回っています。

◇ただ、1年生と同様に、「自尊感情」や「夢や目標」の項目が低くなっています。依然として課題のひとつです。

第二回生徒総会

◇1年の生徒会活動を締めくくる生徒総会が行われました。政治の世界で言えば、各省の大臣にあたる委員会の委員長が、1年間の活動の総括をしました。生徒会の世界にも、ちゃんとやっていない部分や改善すべき点もあるので、これまた政治の世界で言えば国会議員にあたる一般の生徒がおかしいと思うところを質問し、委員長が答えていきました。



(生徒A)「〇〇委員会に質問です。予算が残っているようですが、使い道は…。」(委員長)「まだ考えていません。」(議長)「(質問者に) いいですか?」(生徒A)「はい、ありがとうございます。」*えっ、おしまい?

◇でも、質問に立った生徒の多くが、置き勉(*勉強道具を置いて帰ること!)、徒歩で登校する人の割合の低さ、図書室利用者の固定化など、何とかしなければ!と感じる学校の課題について、担当の委員会に政策提言をしていたことに感心しました。答弁に立った委員長も、まず相手の話を受け入れ、それから意見を述べていました。さすが、これからの南中を支える生徒会役員です。